

科目名	仏教史					単位	4.0
担当教員	安藤 弥						
授業形態	講義	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	1291

●授業のテーマ

仏教の歴史的展開

●到達目標

真宗大谷派教師として必要な仏教史に関わる基礎的知識を習得する。

●学習内容(授業概要)

本講では、仏教がどのような歴史をたどってきたのかという問題について概説する。具体的な講義内容については、教理的系譜（教えがどのように展開してきたか）よりも、社会的展開（歴史社会上、仏教がどのように展開してきたか）に力点が置かれる。

授業計画としては、まず前期に日本仏教の通史的展開について概説する。後期は前半にインド・中国を中心とした大陸仏教の歴史的展開を概説し、後半では仏教史・真宗史をめぐる特論的テーマについて講義する。

●学習内容(授業計画)

【前期】

1. 導入「日本仏教史学」の課題
2. 飛鳥仏教—仏教伝来
3. 奈良仏教—大仏建立
4. 特論①日本仏教の成立
5. 平安仏教—御霊信仰と浄土信仰
6. 鎌倉仏教—顕密体制論と鎌倉仏教
7. 室町仏教—顕密の変容と五山禅宗
8. 戦国仏教—顕密の崩壊と宗教一揆
9. 特論②日本仏教の変容
10. 近世仏教と幕藩体制
11. 近世仏教と民衆信仰
12. 明治仏教—維新政府の宗教政策
13. 大正仏教—近代仏教のあゆみ
14. 現代仏教の諸課題
15. 総括（まとめ・理解度の確認）

【後期】

1. 導入「仏教史学」の課題（2）東アジア・個別テーマ
2. インド仏教史
3. アジア諸国の仏教史
4. 中国仏教史（1）仏教伝来～魏・晋・南北朝
5. 中国仏教史（2）隋・唐
6. 中国仏教史（3）宋代以降
7. 中国仏教史（4）近現代・朝鮮仏教史
8. 中間総括
9. 真宗寺院の歴史と法宝物史料

10. 儀式・声明の歴史
11. 真宗各派の歴史
12. 真宗本廟（東本願寺）造営史
13. 真宗大谷派教団と差別問題・戦争問題
14. 同朋会運動と教団紛争
15. 総括（まとめ・理解度の確認）

●準備学習・事後学習の内容

準備学習では仏教史に関わる参考文献を読んでみる。事後学習では講義内容について講義ノートや配布プリントを利用しながら復習すること。

●成績評価方法・基準

平常点（受講姿勢など）50%・試験（筆記またはレポート）50%

●テキスト（必携）

（なし—板書が基本で資料プリントを配布することもあります）

●参考文献／その他

『図説 日本仏教の歴史』シリーズ（佼成出版社、1996年）
『日本仏教史』シリーズ（吉川弘文館、1986～1998年）
『大乘の仏道』（東本願寺、1987年）
鎌田茂雄『新 中国仏教史』（大東出版社、2001年）
平川彰『インド・中国・日本 仏教通史』（春秋社、2006年）
（その他、適時、紹介します）

●履修上の注意

積極的な受講姿勢が必要です。板書が多くなります。後期の各論については、受講生と相談の上、問題関心に合わせて再編しながら講義を進めていく予定です。